
全国市長会 週報 = JACM WEEKLY NEWS =

第 1477 号 令和 2 年 2 月 17 日発行

■□■ も く じ ■□■

◆ トピックス	1
◇ 国と地方・民間の「災害情報ハブ」推進チーム（第 8 回）に立谷会長が出席	
◆ 全国市長会 先週の動き	1
◆ 全国市長会 今週の動き	2
◆ 国の会議等の動き	2
◆ 市長の選挙	2
◆ 全国市長会 行事予定	3
◆ 全国都市数	3
◆ ご案内	3
◇ 第 10 回都市調査研究グランプリ（CR-1 グランプリ）表彰式を開催	

◆◆◆ トピックス ◆◆◆

◇ 国と地方・民間の「災害情報ハブ」推進チーム（第 8 回）に立谷会長が出席

2月12日、中央防災会議防災対策実行会議災害対策標準化推進WGに設置された、「国と地方・民間の『災害情報ハブ』推進チーム」が開催され、委員である立谷会長が出席した。

会議では、令和元年度における I S U T（アイサット：災害時情報集約支援チーム）の活動報告や、長野県における I S U T の活用等に係る報告等があった。立谷会長からは、被災地への支援物資の輸送について、I S U T を活用した実効性のある支援が行えるようにしてほしい等の意見を述べた。

（本会HP参照）

http://www.mayors.or.jp/p_action/a_mainaction/2020/02/200212saigai-infohub.php

[行政部]

◆◆◆ 全国市長会 先週の動き 2月10日～2月14日 ◆◆◆

≪ 2月10日（月） ≫

社会文教委員会委員長の吉田・本庄市長は、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育

課長等に面談のうえ、小・中学校の修学旅行、校外学習、学校生活等における新型コロナウイルスへの対応について、文部科学省として留意すべき事項を検討し、適時・適切に見解を示すよう口頭で申し入れた。

[社会文教部]

◆◆◆ 全国市長会 今週の動き 2月17日～2月21日 ◆◆◆

≪2月17日（月）15：00≫

「**全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会**」を開催。総務省及び防衛省から令和2年度基地関係予算案等について説明を聴取し、意見交換。令和2年度両協議会合同定期総会等について協議予定。

[社会文教部]

◆◆◆ 国の会議等の動き ◆◆◆

≪2月13日（木）≫

「**第1回成育医療等協議会**」が開催され、成育医療等を巡る状況等について審議。

本会から末松・鈴鹿市長が出席し、①人口20万程の鈴鹿市においても、産婦人科や小児科の医師が足りず、地域の総合病院で出産ができないため、里帰り出産を推奨することができない。特にハイリスク出産への対応は厳しい状況である、②性教育をはじめとして、小中学校の教育で自分の体のことを十分に学ぶことができていない中、晩産化や女性の働き方の多様化等が重なり、少子化が進んでいる、③自治体としても、児童福祉法や母子保健法等、それぞれの法律の中で事業を推進しているが、法律と法律の狭間となる部分について、成育基本法の中で切れ目なくできるものだと期待している、④鈴鹿市では、すべての5歳児に適応健診を実施しており、発達の問題を抱える子どもへの支援を厚くすることができた。これは子ども家庭総合支援拠点の窓口にもなっていくものと考えている等の発言を行った。

[社会文教部]

≪2月21日（金）13：30≫

「**障害者政策委員会（第50回）**」が開催され、障害者差別解消法の見直しの検討、国連障害者権利委員会の審査に向けた対応について審議。本会から辻・和泉市長が出席予定。

[社会文教部]

◆◆◆ 市長の選挙 ◆◆◆

（選挙日） （市名） （市長名） （期数）
2月16日 神奈川県藤沢市 鈴木恒夫 3期

2月16日 京都府八幡市 堀口文昭 3 期

2月23日 滋賀県草津市 橋川 渉 4期(2月16日無投票)

[総務部]

◆◆◆ 全国市長会 行事予定 2月17日～3月13日(4週間) ◆◆◆

(月日)	(時間)	(会議名)	(場所)	(所管)
2月17日	15:00	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会	全国都市会館(第1会議室)	社会文教部
3月4日	14:30	第7回地域医療確保対策会議	全国都市会館(第1会議室)	社会文教部

[企画調整室]

◆◆◆ 全国都市数 令和2年2月17日現在 ◆◆◆

= 815 都市 =

政令指定都市	20
中核市	58
施行時特例市	27
一般市	687
特別区	23

[調査広報部]

◆◆◆ ご案内 ◆◆◆

◇ 第10回都市調査研究グランプリ(CR-1グランプリ)表彰式を開催

公益財団法人日本都市センター(以下、当センター)では、全国の都市自治体で行った調査研究や都市自治体職員が自主的に行った調査研究を募集し、特に優秀な作品を表彰する「都市調査研究グランプリ(以下、CR-1グランプリ)」を、2010年度から実施しています。

今年度の第10回CR-1グランプリでは、応募のあった16件を対象に、審査委員による審査を行い、5件の入賞作品を決定し、表彰しました。

表彰式では、第10回CR-1グランプリ審査委員会の井川博座長(帝京大学法学部政治学科教授)からの入賞者への賞状の授与、全体講評に引き続き、最優秀賞受賞者から調査研究の発表が行われました。

なお、選考結果概要及び講評は、当センターHP及び機関誌『都市とガバナンス』で紹介し、広く調査研究事例を共有、全国の都市自治体やその職員の調査研究能力の向上に寄与することとしています。

記

【表彰式】

1. 日 時 2020年2月12日（水）午後1時30分から午後2時20分まで
2. 次 第 (1)表彰・講評
(2)研究報告 2019年度最優秀賞受賞：川崎市

【受賞者】

○最優秀賞（1件）

受賞者：川崎市

調査研究：新たなパブリック空間のデザイン～既存ストックの有効活用～

○優秀賞（2件）

[政策基礎部門]

受賞者：盛岡市まちづくり研究所

調査研究：人口減少社会における若者の地元定着に向けた施策の方向性について

[政策応用部門]

受賞者：渡邊瑛季

作品名：宇都宮市北西部における地域資源の観光活用方策に関する調査研究

○奨励賞（2件）

[政策基礎部門]

受賞者：さがみはら都市みらい研究所

調査研究：一人暮らし高齢者の生活と意識に関する調査研究

[政策応用部門]

受賞者：青野貞康

作品名：宇都宮市における食料品アクセス問題の現状と課題に関する調査研究

※CR-1 グランプリについては、<http://www.toshi.or.jp/?cat=18> を参照

※調査研究の概要と講評は、機関誌「都市とガバナンス」第33号（2020年3月発行）に掲載予定

[公益財団法人日本都市センター研究室]

【 発 行 】

全国市長会 調査広報部

〒102-8635 東京都千代田区平河町 2-4-2

TEL:03-3262-2316 FAX:03-3263-5483

ホームページ : <http://www.mayors.or.jp>

内容・記事に関するお問い合わせメール : jacm@mayors.or.jp

「週報」の情報は全国市長会HPでもご覧いただけます。
